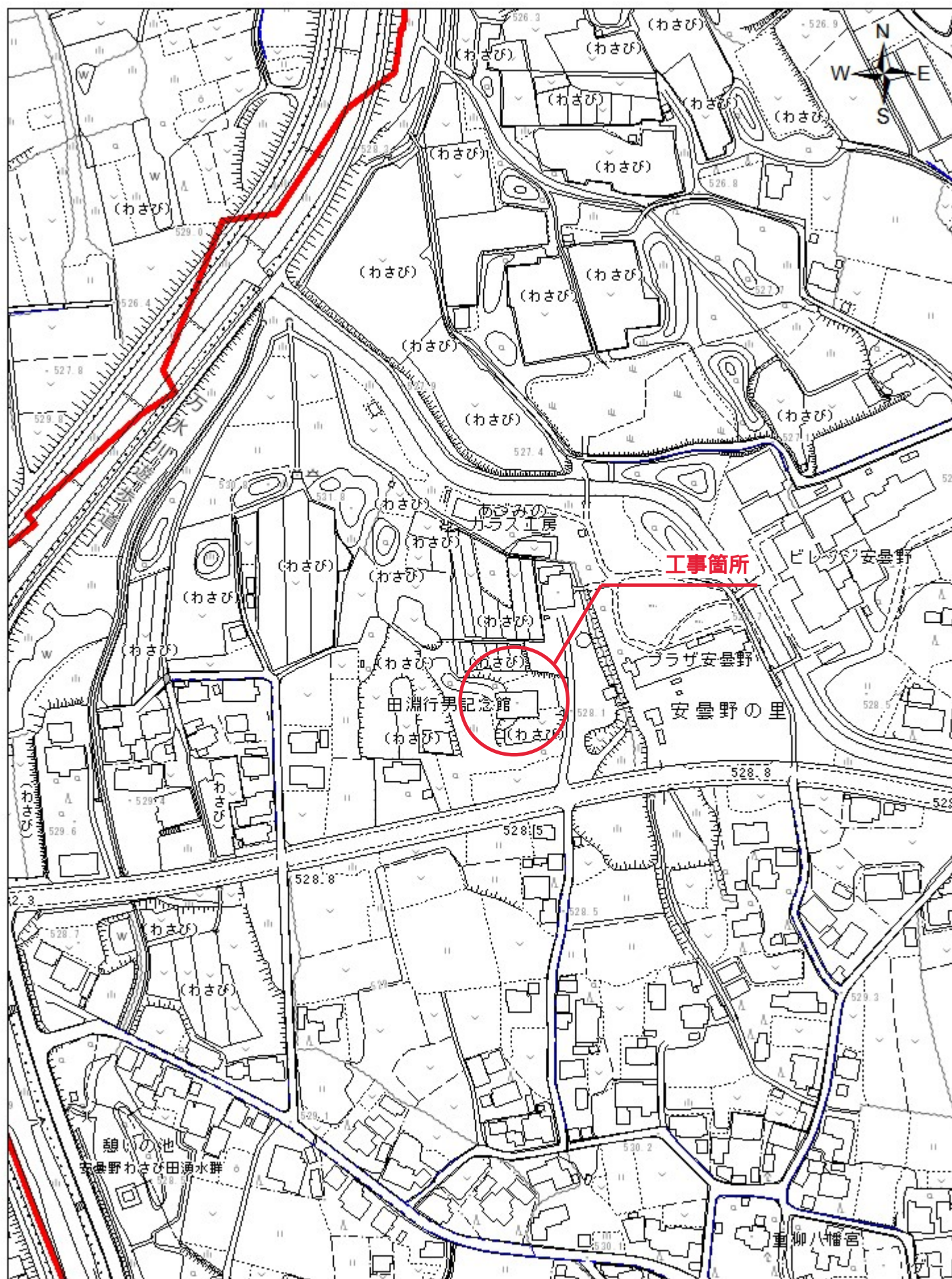


工事名					令和4年度 田淵行男記念館棧橋改築工事										
工事場所					田淵行男記念館 <div>金抜設計書</div>										
工事概要										施 工 方 法		請 負			
棧橋の改築工事 ・既存:木造、コンクリート基礎(解体) ・改築:主要構造:アルミ合金 床板 :合成木材 基礎 :打込ピン										施 工 期 間		契約日から 令和5年3月24日			
										担 当 課		文化課 文化振興担当			
										工事担当課		財産管理課 施設経営担当			

令和4年度 田淵行男記念館棧橋改築工事



1:2,500

0 45 90 180 m

現 場 説 明 書

安曇野市 総務部 財産管理課 施設経営担当

1. 件名（工事名称） 令和4年度 田淵行男記念館棧橋改築工事
2. 工事場所： 安曇野市 田淵行男記念館
3. 工事概要： 棧橋の改築工事 既存：木造、コンクリート基礎（解体）
改築：主体構造：アルミ合金
床板：合成木材
基礎：打込ピン

4. 工事工期： 契約日 から 令和5年3月24日

5. 一般事項について

(1) 現場説明会

本件の内容は、現場、入札心得、入札公告、特記仕様書、設計図書、安曇野市建築工事の手引等関連する仕様書類、長野県建設工事標準請負契約約款に基づき市が定める契約書（案）及び現場説明書（以下「設計図書等」という。）によるものとし、現場説明会は実施しない。

(2) 設計図書等に対する質問及び回答について

設計図書等に関する問い合わせは、「入札公告」記載のとおりとし、入札執行が完了するまでの間、本件に関しての面談又は電話（ただし、指定の問い合わせ先は除く。）等は一切認めない。

(3) 工事費内訳書の提出

入札時の工事費内訳書提出については「入札公告」による。

(4) 工事費内訳書記載数量は参考数量とする。

6. 本工事における特記事項

(1) 令和5年3月3日（金）までに契約検査課の部分使用検査を受け、棧橋の引き渡しを行い、田淵行男記念館を使用できるようにすること。

(2) 工事用地等

本工事に必要な用地は、以下のとおり。

使用目的	使用場所・面積
資材置場	敷地内
駐車場	同上敷地
現場事務所	同上敷地

(3) 周辺施設利用者の安全に十分配慮すること。

(4) 工事着手前に事前のお知らせをおこなうこと。また看板等を設置して、工事内容の周知を行うこと。

- (5) 日・祝日は基本休工とする。休日、夜間に作業を行う場合は事前に協議をすること。
ただし、事前に了解が得られた場合はその限りではない。
- (6) 周辺施設利用者、周辺住民の安全に十分配慮すること。
- (7) 新型コロナウイルス感染症対策は十分に講じること。
- (8) 各官公庁手続きについて、
事前に監督員・監理者が申請書類等の内容確認をしてから提出すること。
- (9) 近隣にワサビ畑、養魚場があるため、施工方法については、事前に監督員・監理者の承認を得ること。

7. ~~本工事に関連する別途発注工事の予定~~

発注機関	工事名	工期	工事内容	備考

~~・本工事に近接・競合する工事の予定~~

発注機関				

~~・改修工事における工事個所の順番は図のとおり。~~

~~・この工事は執務並行型の工事である。~~

8. 安全対策関係

① 交通誘導警備員

受注者が交通誘導業務を他人に委託する場合は、受託者は警備業法第4条の規定により公安委員会から警備業の認定を受けた者であること。

② 安全施設

発注者が想定している仮設（ゲート、仮囲い等）については、仮設計画図に示したとおり。受注者は明示された条件に基づき、自主的に工法を選定し、構造設計等必要な検討を行い施工するものとする。（任意仮設）

なお、明示した条件と現場が一致しない場合や明示されていない条件について予期することができない特別な状態が生じた場合において、必要と認められるときには設計変更の対象とする。

9. 工事用道路関係

現場への工事関係車両の入退場の路線は事前に監督員と協議をすること。

10. その他

火災保険等への加入について

火災保険等加入期間については、請負契約後から契約工期末日後 14 日までとする。

特記仕様書（共通事項）

総務部 財産管理課

1. 保険等

建物（施設）引渡しまで工事受注者は、現場説明書に定める保険に加入しなければならない。加入期間は原則として工事着手日とし、その終期は工事しゅん工後14日以降とする。

2. 各種調査等に対する協力について

本工事について、発注者が自ら又は、発注者が指定する第三者が行う下記調査等に対して、協力しなければならない。

(1) 公共事業労務費調査等

(2) 資材調査、建設副産物実態調査等

3. 工事検査

施工途中において総務部契約検査課職員または、発注機関の長の指定する職員による抜打ち検査を実施することがあるので、検査に協力すること。

4. 被害届等

暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。

5. 工事实績情報サービス（CORINS）の登録について

(1) 請負金額が500万円以上（税込）の工事については、工事实績情報サービス（CORINS）の登録をすること。

(2) 登録する場合は、「登録のために確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受け、次に示す期間内に（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）に登録の手続きを行うこと。また、登録機関発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、速やかに監督員に提示すること。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

① 工事受注時契約締結後10日以内

② 登録内容の変更時変更契約締結後10日以内

③ 工事完成時工事完成後10日以内

6. 施工体制台帳に係る書類について

(1) 工事受注者は、請負契約した全ての下請業者について、建設業法に定める「施工体制台帳」とそれに係る書類及び「施工体系図」を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、その写しを監督員に提出すること。

(2) 「施工体系図」は工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。

(3) 次の業種についても請負契約に該当するため、(1)と同様とする。

- ・ 1日で完了する請負契約、少額な作業・雑工の請負契約
- ・ クレーン作業、コンクリートポンプ打設等の日々の単価契約で行っている場合
- ・ クレーン等の業種オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合

7. 主任技術者及び監理技術者の専任について

主任技術者又は監理技術者（以下「監理技術者等」という。）が専任を求められる工事である場合、監理技術者等を専任で設置すべき期間は契約工期が基本となるが、次の期間については、専任を要しない。なお、具体的な期間については、監督員との打合せにおいて定めることとする。

- ① 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入、または仮設工事等が開始されるまでの期間）
- ② 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
- ③ エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
- ④ 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間

8. 産業廃棄物等の取扱い

- (1) 廃棄物の処理に当たっては、受注者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）をするときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という。）に基づき、適正に行うこと。
- (2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。
- (3) しゅん工した時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積み込み状況の写真、処分状況の写真を添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出するとともに、マニフェストA票、B2票、D票並びにE票の原本（廃棄物の種類ごとに1セット）を提示すること。

9. 再生資源利用促進計画書等

「資源の有効な利用の促進に関する法律」（ラージリサイクル法）に基づき、受注者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を作成すること。

また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を作成し、監督員に提出すること。

対象工事：ラージリサイクル法に規定する一定規模以上の工事

作成方法：COBRIS（建設副産物情報交換システム※）を利用すること。

※（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）が提供する建設副産物の情報交換サービス

10. 安全対策関係

- (1) 工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全教育、研修及び訓練を行うこと。
- (2) 安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回以上実施し、この結果は工事日誌へ記録するほか工事写真等も整理のうえ提出すること。なお、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。
- (3) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働

きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

11. 環境対策関係

- (1)現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。
- (2)夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートを選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。
- (3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。
- (4)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。

12. 過積載の禁止

- (1)工事の施工計画にあたって、施工計画書に次の事項を具体的に記載するとともに、施工時においても遵守すること。

- ①積載重量制限を超過しての建設発生土の処理及び資機材（以下「資機材等」という。）の積載重量の厳重チェックを行うこと。
- ②過積載を行っている資材等納入業者からの資機材等購入は行わないこと。
- ③過積載を防止するため、資機材等の購入にあたっては、納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- ④資機材等の運搬には、さし枠装着車、物品積載装置等の不正改造した車輛及び不表示車等を使用しないこと。また、同車輛からの資機材等の引き渡しを受けないこと。
- ⑤下請業者や資機材等納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けた者または車輛を使用した業務等において悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。
- ⑥飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。
- ⑦土砂等の運搬に関する事業者の選定に当たっては、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条の規定に基づき届け出た団体構成員の雇用に努めること。

- (2)以上の点について、下請業者についてもこれに準じ徹底すること。

13. ~~セメント及びセメント系固化材を使用した改良土について~~

- ~~(1)セメント及びセメント系固化材を使用した地盤改良及び改良土を再利用する場合は、六価クロム溶出試験を行い、その結果について監督員に報告する。~~
- ~~(2)セメント及びセメント系固化材とは、セメントを含有成分とする固化材で、普通ポルトランドセメント、高炉セメント、セメント系固化材、石灰系固化材をいい、これに添加物を加えたものを含める。~~
- ~~(3)六価クロム溶出試験は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」（以下「実施要領（案）」という。）により実施し、土壤環境基準を超えないことを確認する。~~

14. アスベスト建材使用箇所等の事前調査

- (1) 石綿等による健康障害を防止するため、とりこわし、改修工事の解体及び撤去等作業前、図面・施工範囲目視、その他適切な方法によるアスベスト含有材料の有無について調査を行い、報告書を監督員に提出する。アスベスト含有材料が無かった場合においても書面にて報告を行う。工事発注前に市で実施したアスベスト調査資料については、受注者へ資料提供を行う。

報告書の記載内容

- ① アスベスト材料の種別
- ② アスベスト形状、飛散可能性の有無
- ③ 製造所・製品名称、製造所の公表するアスベスト含有率

なお、上記調査において、アスベスト分析調査が必要な場合は別途監督職員と協議を行う。

- (2) 監督員の指示による「石綿（アスベスト）の事前調査結果」、「建築物等の解体・改修等作業に関するお知らせ」について、公衆の見やすい場所に掲示を行う。

15. 建設業退職金制度について

- (1) 工事受注者は、自ら雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に共済証紙を貼付すること。
- (2) 工事受注者が下請契約を締結する際は、下請業者に対して、建退共制度の趣旨を説明し下請業者が雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙をあわせて購入し現物により交付すること、または建退共制度の掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の建退共制度への加入並びに共済証紙の購入及び貼付を促進すべきこと。
- (3) 請負代金の額が800万円以上の建設工事の請負契約を締結した時は、工事受注者は建退共制度の発注者用掛金収納書（以下「収納書」という。）を工事締結後1ヶ月以内に発注者に提出すること。なお、工事契約締結当初は工場製作の段階であるため建退共制度の対象労働者を雇用しないこと等の理由により、期限内に当該工事に係る収納書を提出できない事情がある場合又は、建退共対象労働者を使用しない場合においては、あらかじめその理由を書面により申し出ること。

16. 資材の市内産優先使用及び市内企業の優先採用

~~(1) 工事受注者は、本工事に使用する材料については、規格・品質等の条件を満足するものについては、市内産資材を優先使用するように努めること。~~

- (2) 工事受注者は、工事用資材の調達に当たっては、極力市内の取扱い業者から購入すること。

- (3) 下請契約を締結する際には、市内企業の採用に努めること。

17. 再資源化及び再生資源等使用状況

工事受注者は、しゅん工時にコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木くずの再資源化の状況、再生資源（再生クラッシャーラン、再生アスファルト・コンクリート、再生土砂）及び信州リサイクル製品の使用状況について、監督員へ報告すること。

18. レディーミクストコンクリート製造工場の選定について

受注者は、Ⅰ類コンクリートの製造工場を、JISマーク表示認証工場（改正工業標準化法（平成16年6月9日公布）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により認証を受けた工場）で、かつ、コンクリート製造に係る指導及び品質管理を行う施工管理技術者（コンクリート主任技士等）が置かれ、良好な品質管理が行われている工場（全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等）から選定する。

ただし、これにより難い場合は、監督員と協議する。

19. 工事進捗状況報告書

監督員の指示により、毎月の工事の進捗状況を報告書にまとめて提出する。

添付書類

- ・工事記録（工事の経過に伴う主な工事内容等の事項を記載した月報）
- ・工事打合わせ記録簿（当月分）
- ・工事写真（工事の進捗状況がわかるものを数枚）

20. 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用权は、発注者に移譲する。

21. 設計図CADデータについて

本工事の設計図CADデータを貸与する。貸与したCADデータは、本工事の履行に必要な施工図の作成及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。

22. 完成写真の著作権の権利等について

工事受注者は、完成写真の撮影者との契約にあたって、以下の事項を条件とすること。

- ① 完成写真は、市が行う事務並びに市及び市が認めた公的機関の広報に、無償で使用するができる。この場合において、著作者名を表示しないことができる。
- ② 以下に掲げる行為をしてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合は、この限りではない。

イ. 完成写真を公表すること。

ロ. 完成写真を他人に閲覧させ、複写させ、又は譲渡すること。

23. 高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはA4版とする。

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
令和4年度 田淵行男記念館棧橋改築工事						
内 訳 書						
A 共通仮設費		式	1			
B 直接工事費		式	1			
(純工事費)計						
現場管理費		式	1			
(工事原価)計						
一般管理費等		式	1			
計						
工事価格計						
消費税相当額		式	1			
設計工事費合計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
A 共通仮設費						
準 備 費	}					
仮 設 建 物 費						
工 事 施 設 費						
環 境 安 全 費						
動力用水光熱費		式	1			
屋外整理清掃費						
機 械 器 具 費						
そ の 他						
仮囲い	シート張り H3.0m 存置3ヶ月	m	62.0			
仮門(キャスターゲート)	幅3.0m×高1.8m 片開き 存置3ヶ月	ヶ所	1			
交通誘導員	交通誘導警備員B	人	60.0			
小 計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
B 直接工事費内訳						
1 直接仮設工事		式	1			
2 栈橋本体工事		式	1			
3 解体撤去工事		式	1			
4 付帯工事		式	1			
B - 計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
1 直接仮設工事						
遣り方	地縄張り、基礎墨出し	m2	64			
清掃・片付け		m2	64			
仮設足場	H12m未満 存置3ヶ月 存置3ヶ月	m2	64			
	昇降足場 階段建枠使用 存置3ヶ月	m	4.8			
	メッシュシート張り 存置3ヶ月	m2	64			
移動式クレーン	ラフテレーンクレーン 4.9t オペレータ付	日	2			
1-小計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
2 栈橋本体工事						
栈橋 本体						
床板	30x145 再生木材	m2	73.5			
	取付作業手間	m2	73.5			
	機械工具損料	式	1			
	床板 計					
高欄 平滑部	支柱・笠木・補助手摺:再生木材 (アルミ芯)、縦格子・下残:アルミ製	m	23			
	取付作業手間	m	23			
	機械工具損料	式	1			
	高欄 平滑部 計					

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
高欄 スロープ部	支柱・笠木・補助手摺:再生木材 (アルミ芯)、縦格子・下残:アルミ製	m	47.5			
	取付作業手間	m	47.5			
	機械工具損料	式	1			
	高欄 スロープ部 計					
高欄 階段部	支柱・笠木・補助手摺:再生木材 (アルミ芯)、縦格子・下残:アルミ製	m	4.8			
	取付作業手間	m	4.8			
	機械工具損料	式	1			
	高欄 階段部 計					

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
構造 平滑部	アルミ製	m2	25.2			
	取付作業手間	m2	25.2			
	機械工具損料	式	1			
	構造 平滑部 計					
構造 スロープ部	アルミ製	m2	44			
	取付作業手間	m2	44			
	機械工具損料	式	1			
	構造 スロープ部 計					

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
構造 階段部	アルミ製	m2	4.3			
	取付作業手間	m2	4.3			
	機械工具損料	式	1			
	構造 階段部 計					
基礎	基礎 DP-M(コンクリート)タイプ	基	27			
	取付作業手間	基	27			
	機械工具損料	式	1			
	DP-M(コンクリート)タイプ 計					

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
	基礎 基底材(アルミ)タイプ	基	6			
	取付作業手間	基	6			
	機械工具損料	式	1			
	基底材(アルミ)タイプ 計					
門扉	アルミ製 W900 片開き	基	1			
	取付作業手間	基	1			
	機械工具損料	式	1			
	門扉 計					
2-小計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
3 解体撤去工事						
既存栈橋 解体撤去						
木造建物解体	手壊し	m2	64			
基礎コンクリート解体	ハントフレーカ主体	m3	3.1			
土間コンクリート解体	ハントフレーカ主体	m3	5			
基礎埋戻し	再生砕石	m3	5.2			
処分費	木くず	m3	7.7			
	コンクリート塊(有筋)	t	8.7			
	金属くず	m3	0.03			
	その他がれき類	m3	0.6			
	廃プラスチック類	m3	0.03			
積込み	木くず	m3	7.7			
	コンクリート塊(有筋)	m3	8.1			
	金属くず	m3	0.03			
	その他がれき類	m3	0.6			
	廃プラスチック類	m3	0.03			

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
収集・運搬料金(4tダンプ車)	木くず	回	1			
	コンクリート塊(有筋)	回	3			
	金属くず	回	1			
	その他がれき類	回	1			
	廃プラスチック類	回	1			
既存木製手摺カット	H=950 L=1700程度	式	1			
3-小計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
4 付帯工事						
土間コンクリート						
土工事	根切り 手掘り	m3	3.3			
	残土処分 場内 土間撤去部に埋戻し	m2	10.9			
	床付け 手掘り	m2	10.9			
	碎石地業 再生碎石 t=100	m3	1.1			
鉄筋工事	異形鉄筋 SD295 D10	kg	47.6			
	異形鉄筋 SD295 D13	kg	31.8			
	鉄筋加工組立	t	0.08			
	鉄筋運搬	t	0.08			
コンクリート工事	生コンクリート Fc=18 S=18 捨コン	m3	0.6			
	生コンクリート Fc=21 S=18 土間コン	m3	3.5			
	打設手間 捨コン	m3	0.6			
	打設手間 土間コン	m3	3.5			
型枠工事	合板型枠 普通	m2	8.0			
	型枠運搬 4t車	m2	8.0			
コンクリート面 刷毛引き仕上		m2	10.9			
土間コンクリート 計						

工事設計用紙

名 称	摘 要	単位	数 量	単 価	金 額	備 考
排水管復旧(既存栈橋解体時に既存配管は撤去)						
排水管	SGP-VB ねじ接合 屋外配管 50A	m	16			
館名板移設(基礎共)	W=1850 H=1850 木製	式	1			
掲示板移設(基礎共)	W=1700 H=1850 アルミ製	式	1			
ベンチ移設(基礎共)	W=1820 H=450 木製	式	1			
4-小計						

令和4年度 田淵行男記念館棧橋改築工事 設計業務 特記仕様書		8.設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。	4 地業工事	1.既製 コンクリート杭地業 及び鋼杭地業	材料 ・高強度プレストレストコンクリート杭（建築基準法に基づく指定又は認定を受けたもの） ・鋼管ぐい ・SKK400 ・SKK490 ・H型鋼ぐい ・SHK400 ・SHK490M	11.無筋コンクリート	設計基準強度 18N/mm2 (6.14)																		
		9.設計GL	※図示 ・設計GL=現状GL			<table><tr><td></td><td>杭径(mm)</td><td>杭長(m)及び種別</td><td>継手数</td><td>セツト数</td><td>備 考</td></tr><tr><td>試験杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>本 杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		杭径(mm)	杭長(m)及び種別	継手数	セツト数	備 考	試験杭						本 杭						12.生コンの品質管理	打ち込み量50m3以上となるコングリート工事においては担当技術者を配置し、監督職員に報告すること。 供試体には、請負者がサインしたQC版（供試体型枠側面に張り付ける確認版）を入れる。
	杭径(mm)	杭長(m)及び種別	継手数		セツト数	備 考																				
試験杭																										
本 杭																										
I 工事概要		10.化学物質の濃度測定	測定方法 ※ハツパ法（拡散法） ・アタゴ法（吸引法） (1.5.9)	2.場所打ち コンクリート杭地業	先端部の形状 ※開放型 ・閉そく平たん 施工法 ・打込み工法 設計支持力() ・セメントミルク工法 ・特定埋込杭工法 (4.3.3～4.3.5) 杭の継手 建築基準法に基づく指定機関にて性能評定を受けた継手の使用可。 (4.3.6)(4.4.5) 杭頭の処理 ※ 切断しない (4.3.7)(4.4.6)	7 その他工事	①棧橋の仕様	支柱・橋桁・大引等構造材:アルミ合金 アルマイト処理 床板・手摺柱表層・手摺笠木表層・補助手摺表層・再生木材																		
		⑪完成図等	測定物質 ホルムアルデヒド トルエン キシレン エチルベンゼン バラジクロロベンゼン スチレン	③砂利地業	鉄筋の最小かぶり厚さ ※5章鉄筋工事による (4.5.3) セメントの種類 ※高炉セメントB種 (4.5.3) コンクリートの種別及び設計基準強度 (4.5.3)(表4.5.1) （・A種 ・B種）かつFo＝()N／mm ² 以上 掘削工法 ・アースドリル工法 ・リバース工法 ・オールケーシング工法 (4.5.4) ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 ・掘底杭工法 (4.5.5) 孔壁測定 ・行う() ・行わない (4.5.4)																					
		⑫完成写真	測定箇所(室) 計 個所	4.床下防湿層	鉄筋の最小かぶり厚さ ※5章鉄筋工事による (4.5.3) セメントの種類 ※高炉セメントB種 (4.5.3) コンクリートの種別及び設計基準強度 (4.5.3)(表4.5.1) （・A種 ・B種）かつFo＝()N／mm ² 以上 掘削工法 ・アースドリル工法 ・リバース工法 ・オールケーシング工法 (4.5.4) ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 ・掘底杭工法 (4.5.5) 孔壁測定 ・行う() ・行わない (4.5.4)																					
		⑬建築材料等	試験採取に当たっては、監督職員又は監督職員が指定する者が立ち会ひの下に行う。	5.地盤改良等	鉄筋の最小かぶり厚さ ※5章鉄筋工事による (4.5.3) セメントの種類 ※高炉セメントB種 (4.5.3) コンクリートの種別及び設計基準強度 (4.5.3)(表4.5.1) （・A種 ・B種）かつFo＝()N／mm ² 以上 掘削工法 ・アースドリル工法 ・リバース工法 ・オールケーシング工法 (4.5.4) ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 ・掘底杭工法 (4.5.5) 孔壁測定 ・行う() ・行わない (4.5.4)																					
			化学物質の室内汚染濃度指針値	5 鉄筋工事	6.支持地盤の位置・種類	鉄筋の最小かぶり厚さ ※5章鉄筋工事による (4.5.3) セメントの種類 ※高炉セメントB種 (4.5.3) コンクリートの種別及び設計基準強度 (4.5.3)(表4.5.1) （・A種 ・B種）かつFo＝()N／mm ² 以上 掘削工法 ・アースドリル工法 ・リバース工法 ・オールケーシング工法 (4.5.4) ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 ・掘底杭工法 (4.5.5) 孔壁測定 ・行う() ・行わない (4.5.4)	7 その他工事	①棧橋の仕様	支柱・橋桁・大引等構造材:アルミ合金 アルマイト処理 床板・手摺柱表層・手摺笠木表層・補助手摺表層・再生木材																	
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。			鉄筋の最小かぶり厚さ ※5章鉄筋工事による (4.5.3) セメントの種類 ※高炉セメントB種 (4.5.3) コンクリートの種別及び設計基準強度 (4.5.3)(表4.5.1) （・A種 ・B種）かつFo＝()N／mm ² 以上 掘削工法 ・アースドリル工法 ・リバース工法 ・オールケーシング工法 (4.5.4) ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 ・掘底杭工法 (4.5.5) 孔壁測定 ・行う() ・行わない (4.5.4)																				
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。			鉄筋の最小かぶり厚さ ※5章鉄筋工事による (4.5.3) セメントの種類 ※高炉セメントB種 (4.5.3) コンクリートの種別及び設計基準強度 (4.5.3)(表4.5.1) （・A種 ・B種）かつFo＝()N／mm ² 以上 掘削工法 ・アースドリル工法 ・リバース工法 ・オールケーシング工法 (4.5.4) ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 ・掘底杭工法 (4.5.5) 孔壁測定 ・行う() ・行わない (4.5.4)																				
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。			鉄筋の最小かぶり厚さ ※5章鉄筋工事による (4.5.3) セメントの種類 ※高炉セメントB種 (4.5.3) コンクリートの種別及び設計基準強度 (4.5.3)(表4.5.1) （・A種 ・B種）かつFo＝()N／mm ² 以上 掘削工法 ・アースドリル工法 ・リバース工法 ・オールケーシング工法 (4.5.4) ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 ・掘底杭工法 (4.5.5) 孔壁測定 ・行う() ・行わない (4.5.4)																				
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。	6 コンクリート工事	①適用範囲	構造図と本章とで相違がある場合は、構造図を優先する。	7 その他工事	①棧橋の仕様	支柱・橋桁・大引等構造材:アルミ合金 アルマイト処理 床板・手摺柱表層・手摺笠木表層・補助手摺表層・再生木材																	
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。		②鉄筋の種類	<table><tr><td>種類の記号</td><td>呼び名(mm)</td></tr><tr><td>○SD295A</td><td>D10、D13</td></tr><tr><td>・SD345</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td></tr></table>				種類の記号	呼び名(mm)	○SD295A	D10、D13	・SD345		・										
種類の記号	呼び名(mm)																									
○SD295A	D10、D13																									
・SD345																										
・																										
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。	3.鉄筋の継手	呼び名19mm以上の柱、梁の主筋 ※ガス圧接 ・重ね継手 (5.3.4)	7 その他工事	①棧橋の仕様	支柱・橋桁・大引等構造材:アルミ合金 アルマイト処理 床板・手摺柱表層・手摺笠木表層・補助手摺表層・再生木材																		
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。	④鉄筋の最小かぶり厚さ	最小かぶり厚さは目地底から算定する。 ○耐久上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。																					
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。	6 コンクリート工事	<table><tr><td>施 工 箇 所</td><td>標仕値5.3.6の値に加える寸法(mm)</td></tr><tr><td>柱・梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面</td><td>※ 10 ・ 15</td></tr></table>				施 工 箇 所	標仕値5.3.6の値に加える寸法(mm)	柱・梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面	※ 10 ・ 15														
施 工 箇 所	標仕値5.3.6の値に加える寸法(mm)																									
柱・梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面	※ 10 ・ 15																									
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。	⑤各部配筋	構造図による。 構造図に記載なきものは、各部配筋 参考図による。 (5.3.7)																					
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。	6.圧接完了後の試験	※ 超音波探傷試験 ・引張試験 (5.4.9)	7 その他工事	①棧橋の仕様	支柱・橋桁・大引等構造材:アルミ合金 アルマイト処理 床板・手摺柱表層・手摺笠木表層・補助手摺表層・再生木材																		
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。	⑥コンクリートの種類	※ I 類 ・II 類 (6.2.1)(6.4.1)(6.4.2)(表6.2.1)																					
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。	③コンクリートの強度	<table><tr><td>設計基準強度F_c(N/mm²)</td><td>施工箇所</td></tr><tr><td>※ 21 ・ 24</td><td>建物躯体(建物内土間コンクリート、ポーチ、犬走りを含む)</td></tr><tr><td>・ 18</td><td>上記以外</td></tr></table>				設計基準強度F _c (N/mm ²)	施工箇所	※ 21 ・ 24	建物躯体(建物内土間コンクリート、ポーチ、犬走りを含む)	・ 18	上記以外												
設計基準強度F _c (N/mm ²)	施工箇所																									
※ 21 ・ 24	建物躯体(建物内土間コンクリート、ポーチ、犬走りを含む)																									
・ 18	上記以外																									
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。	④スランプ	工作物のスランプ値は15又は18cmとする。 (6.3.1)(6.13.2)(表6.3.1)																					
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。	6 コンクリート工事	⑤セメントの種類	<table><tr><td>セメントの種類</td><td>施工箇所</td></tr><tr><td>※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種</td><td>下記以外の全て</td></tr><tr><td>・ 高炉セメントB種</td><td>※ 場所打ちコングリート杭</td></tr></table>	セメントの種類	施工箇所	※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種	下記以外の全て	・ 高炉セメントB種	※ 場所打ちコングリート杭	7 その他工事	①棧橋の仕様	支柱・橋桁・大引等構造材:アルミ合金 アルマイト処理 床板・手摺柱表層・手摺笠木表層・補助手摺表層・再生木材											
セメントの種類	施工箇所																									
※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種	下記以外の全て																									
・ 高炉セメントB種	※ 場所打ちコングリート杭																									
			⑥骨材の種類	アルカリシリカ反応による区分 ※A ・B（※コンクリート中のアルカリ総量 Rt＝3.0kg/m53以下） (6.3.1)(6.5.4)																						
			⑦珪和材料	※珪和剤 ○E減水剤 (6.3.1)(6.3.2)																						
			⑧型枠の種類	塗装の有無 ※無 ・有 ○オーバーレイ 材質 ※複合合板 ・針葉樹合板 ・南洋材合板 厚さ 12mm (6.8.3)																						
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。	9.断熱材兼用型枠	適用及び適用箇所については(特記仕様書 19.14)による	7 その他工事	①棧橋の仕様	支柱・橋桁・大引等構造材:アルミ合金 アルマイト処理 床板・手摺柱表層・手摺笠木表層・補助手摺表層・再生木材																		
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。	⑩コンクリート躯体 表面の処理	タイル後張り面の躯体表面の処理 MCR工法は、せき版面にMCR工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、仕上がり面は凹凸状態とする。 高圧水洗工法の目荒しは、水圧50N／mm2以上かつ2.5分／㎡以上とし、施工計画書を監督職員に提出し承諾を受ける。また、目荒しの状態は、事前に監督職員に承諾を受ける。 コンクリートの増打ち厚さ 20mm 施工範囲は図示による																					
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。																							
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。																							
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。	6 コンクリート工事		7 その他工事	①棧橋の仕様	支柱・橋桁・大引等構造材:アルミ合金 アルマイト処理 床板・手摺柱表層・手摺笠木表層・補助手摺表層・再生木材																		
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。																							
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。																							
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。																							
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。	6 コンクリート工事		7 その他工事	①棧橋の仕様	支柱・橋桁・大引等構造材:アルミ合金 アルマイト処理 床板・手摺柱表層・手摺笠木表層・補助手摺表層・再生木材																		
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。																							
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。																							
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。																							
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。	6 コンクリート工事		7 その他工事	①棧橋の仕様	支柱・橋桁・大引等構造材:アルミ合金 アルマイト処理 床板・手摺柱表層・手摺笠木表層・補助手摺表層・再生木材																		
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。																							
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。																							
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。																							
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。	6 コンクリート工事		7 その他工事	①棧橋の仕様	支柱・橋桁・大引等構造材:アルミ合金 アルマイト処理 床板・手摺柱表層・手摺笠木表層・補助手摺表層・再生木材																		
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。																							
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。																							
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。																							
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。	6 コンクリート工事		7 その他工事	①棧橋の仕様	支柱・橋桁・大引等構造材:アルミ合金 アルマイト処理 床板・手摺柱表層・手摺笠木表層・補助手摺表層・再生木材																		
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。																							
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。																							
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。																							
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。	6 コンクリート工事		7 その他工事	①棧橋の仕様	支柱・橋桁・大引等構造材:アルミ合金 アルマイト処理 床板・手摺柱表層・手摺笠木表層・補助手摺表層・再生木材																		
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。																							
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。																							
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。																							
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。	6 コンクリート工事		7 その他工事	①棧橋の仕様	支柱・橋桁・大引等構造材:アルミ合金 アルマイト処理 床板・手摺柱表層・手摺笠木表層・補助手摺表層・再生木材																		
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。																							
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。																							
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。																							
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。	6 コンクリート工事		7 その他工事	①棧橋の仕様	支柱・橋桁・大引等構造材:アルミ合金 アルマイト処理 床板・手摺柱表層・手摺笠木表層・補助手摺表層・再生木材																		
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。																							
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。																							
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。																							
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。	6 コンクリート工事		7 その他工事	①棧橋の仕様	支柱・橋桁・大引等構造材:アルミ合金 アルマイト処理 床板・手摺柱表層・手摺笠木表層・補助手摺表層・再生木材																		
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。																							
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。																							
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。																							
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者とする。	6 コンクリート工事		7 その他工事	①棧橋の仕様	支柱・橋桁・大引等構造材:アルミ合金 アルマイト処理 床板・手摺柱表層・手摺笠木表層・補助手摺表層・再生木材																		
			電子データは、フィルムスキャンのうえRGB各8bit(768カラー)、JPEG形式最高画質(1																							

令和4年度 田淵行男記念館棧橋改築工事 設計業務

解体工事 特記仕様書

I 工事概要

1. 施設名称

田淵行男記念館

施設用途:美術館、博物館、資料館

2. 工事場所

安曇野市 豊科南穂高5078-2

3. 用途地域等

区域区分未設定 都市計画区域内、建蔽率/容積率:60/100

防火地域:指定なし、安曇野市土地利用条例で定める田圃環境区域

4. 工事の概要

老朽化に伴う、棧橋の改築

II 建築工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の「建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)」(以下、「解体共通仕様書」という。)による。ただし、「解体共通仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書(令和4年版)」(以下「標準仕様書」という。)及び「公共建築改修工事標準仕様書(令和4年版)」(以下「改修標準仕様書」という。)による。
なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。

2. 特記仕様

1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。

2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。○印と※印のついた場合は、共に適用する。

3) 特記事項に記載の〔 〕、() 及び< >内の表示番号は、それぞれ「解体共通仕様書」、「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章

項

目

特記事項

1

一般事項

○ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。

○ 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。

○ 施工体系図を現場に掲示すること。
・ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況(地盤、擁壁、内外壁、床、建具等)を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。
調査範囲 ※ 図示

2

適用基準等

○ 建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規則第9号)

○ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱(平成31年4月1日施行)

○ 宮城県建築工事写真撮影要領(平成12年版)及び工事写真撮影ガイドブック

3

工事実績情報(CORINS)の登録

※ 適用する(請負精算額が500万円以上の場合)
受注時、変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約締結後及び工事完成後10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。
・ 適用しない

4

電気保安技術者

・ 適用する ※ 適用しない

5

事故報告

1. 3. 8]

工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。

6

技能士

1. 5. 2]

・ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級又は単一級技能士を配置する。
※ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級、2級又は単一級技能士を配置する。

工 事 種 目	技能検定職種(技能検定作業)
以下の該当工事	・ 該当する作業がある以下の職種(作業)の全て
仮設工事	・ とび(とび作業)
鉄筋工事	・ 鉄筋施工(鉄筋組立作業)
コンクリート工事	・ 型枠施工(型枠工事作業)
鉄骨工事	・ とび(とび作業) ・ 鉄工(構造物鉄工作業)
コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント版工事	・ ブロック建築(コンクリートブロック工事作業) ・ ALCパネル施工(ALCパネル工事作業)

7. 完成図等

8. 完成写真

3

防水工事

・ 防水施工 (・ アスファルト防水工事作業
・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業
・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業
・ 合成ゴム系シート防水工事作業
・ 塩化ビニルシート防水工事作業
・ セメント系防水工事作業
・ シーリング防水工事作業
・ 改質アマルドート防水工事作業
・ FRP防水工事作業)

石工事

・ 石材施工(石張り作業)

タイル工事

・ タイル張り(タイル張り作業)

木工事

・ 建築大工(大工工事作業)

屋根及びとい工事

・ 建築板金(内外装板金作業)
・ かわらぶき(かわらぶき作業)

金属工事

・ 内装仕上施工(鋼製下地工事作業)
・ 建築板金(内外装板金作業)
・ バルコニー施工(金属バルコニー工事作業)

左官工事

・ 左官(左官作業)

建具工事

・ サッシ施工(ビル用サッシ施工作業)
・ ガラス施工(ガラス工事作業)
・ 自動ドア施工(自動ドア施工作業)

カーテンウォール工事

・ カーテンウォール施工(金属製カーテンウォール工事作業)
・ サッシ施工(ビル用サッシ施工作業)
・ ガラス施工(ガラス工事作業)

塗装工事

・ 塗装(建築塗装作業)

内装工事

・ 内装仕上施工 (・ プラスチック系床仕上工事作業
・ カーペット系床仕上作業
・ 木質系床仕上り工事作業
・ ボード仕上工事作業)

排水工事

・ 表装(壁装作業)

舗装工事

・ 配管(建築配管作業)

舗装工事

・ 路面表示施工 (・ 溶融ハイドロマーク工事作業
・ 加熱ハイドロマーク作業)

植栽工事

・ 造園(造園工事作業)

営繕工事完成引渡要領により作成する。

※ 白焼A4版折製本(黒表紙金文字入) 1部
※ 白焼縮小(A3版)2つ折製本 1部
※ 敷地の完成図面 JWW形式又はDXF形式のCADデータ及びPDFデータ CD2枚

※ 作成する
建築工事写真撮影要領により、完成届に添付する完成写真とは別に次のものを原版(ネガ又は電子媒体)とともに監督職員に提出する。
なお 原版を電子媒体とする場合は、CD等で提出すること。

分 類	サイズ	撮影箇所数	部 数	提出様式
※カラー ・ 白黒	※L ・ 2L ・ 六切り		※1部 ・ 部	※工事用アルバムA4版 ポケット式程度 ・ フリーアルバム (台紙寸法323×270程度)
		・ 箇所 枚		・

・ 作成しない

10. その他

内部足場
・ 設置する (・ ※脚立、足場板等)
・ 設置しない
・ 材料、撤去材等の運搬方法
種別(・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種)
C種: 利用可能なエレベーター ()
D種: 利用可能な階段 ()
足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月策定)」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。
・ 酸素・アセチレン・軽油等の危険物は所定の位置に旋錠できる小屋等にて保管すること。
・ 作業通路は、指定通路表示を行い、足場等の堅固なもので頭上の保護を行うこと。
・ 建物周辺は、粉塵防止や火災発生に備えて散水を行うこと。
・ 工事に関係部分の出入の表示を行うこと。

3
① 解体工法
② 施工計画書等
3. 杭
4. 樹木等
5. 地下埋設物の埋設配管
⑥ 解体後の整地
7. 建設発生土の処理
8. 有害物質含有調査

※ 解体工法は、低振動・低騒音型の機械器具等の選定を心がけ、防音シートや散水等により騒音・振動の減少、粉塵の防止に努めること。
※ 解体方法及び手順は、「分別解体等に係る施工方法に関する基準(建設リサイクル法規則第2条)」による。
[1. 2. 1~2]
工程表・施工計画書・仮設計計画書等は、工事契約後速やかに監督職員に提出し、承諾を得ること。
杭の解体
・ 行う (※杭頭から mまで ・ 全長) [3. 9. 2]
杭の解体工法
・ 引き抜き工法 (・ 振動 ・ ケーシング ・)
・ 粉砕による解体
樹木の伐採伐根
・ 行う(図示による) [3. 11. 1]
樹木の移植
・ 行う(図示による)
地下埋設物及び埋設配管の解体
・ 行う(図示による) [3. 12. 1]
解体後の埋戻し及び盛り土
○ 行う
埋戻し及び盛土の材料 (3. 2. 3)(表3. 2. 1)
・ 再生砕石とする。
・ 構造物撤去等により自現場で発生するコンクリート塊を現場内で破砕したもの(粒径40mm以下)を使用する。
埋戻し範囲 ・ 図示による
C種の場合
建設発生土受入れ量 m3
発生場所
受入条件
整地の高さ
・ 現状GL
・ 図示による
(3. 2. 5)

4
1. 再資源化等

建設廃棄物の種類	中間処理施設又は再資源化施設の名称等	所在地(km)
・ コンクリート		
・ コンクリート及び鉄から成る建設資材		
・ アスファルト、コンクリート		
・ 木材		
・ 金属類		
・ 小形二次電池		

[4. 4. 1]

建設廃棄物の種類	再資源化の有無	再資源化施設の名称等	所在地(km)
・ 蛍光灯	・ する		
・ HIDランプ	・ しない		
・ 硬質ポリ塩化ビニル管・継手	・ する		
・ ガラス	・ しない		

[4. 4. 1]

現場利用する再資源化された建設廃棄物種 類	利用する場所(箇所)等

※ 鉄筋コンクリートを現地で破砕し、再生材クラッシャーラン(0~40)として利用する場合は、標準仕様書(表22. 3. 3)の再生材クラッシャーランによることとし、すりへり減量を50%以下にすること。

2. 産業廃棄物広域認定制度の活用

3. 最終処分

4. 処分に注意を要する建設廃棄物

5
特別管理産業廃棄物の処理計画
3. PCBを含む機器類等の処理
4. 特殊な建設副産物の回収及び処分

種 類	所在地等(km)

[4. 4. 3]

種 類	受入施設名称等	所在地(Km)	備考

[4. 5. 1]

種 類	受入施設名称等	所在地(Km)	備考

1~3の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。
また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること

[4. 5. 1]

種 類	処理施設名称等	所在地(Km)	備考
・ COA処理木材			
・ ヒ素又はカドミウム含有石膏ボード			
・			

[5. 1. 2]

材 料 名	仕様等(型式、厚さ、数量)	調査の範囲
		※ 図示 ・ 工事対象範囲

[5. 1. 3][1. 2. 2]
※ 種類別に具体的な処理計画を定め施工計画書に記載する。

特別管理産業廃棄物の種類	処分場の名称	所在地等(km)
・ 廃石綿		

[5. 4. 1]

PCB(ポリ塩化ビフェニール)含有機器	・ 有(数量は図示) ・ 無
PCB含有シーリング材	・ 有(施工範囲は図示) ・ 無

[7. 3. 1]

回収又は処分を行う副産物の種類	対象機器名称	回収業者又は処分場の名称等	保管場所・処分場の所在地等
・ フロン			
・ ハロン			
・ イオン化式感知器			
・ 六フッ化硫黄(SF6)ガス			

DRAWING TITLE

解体特記仕様書

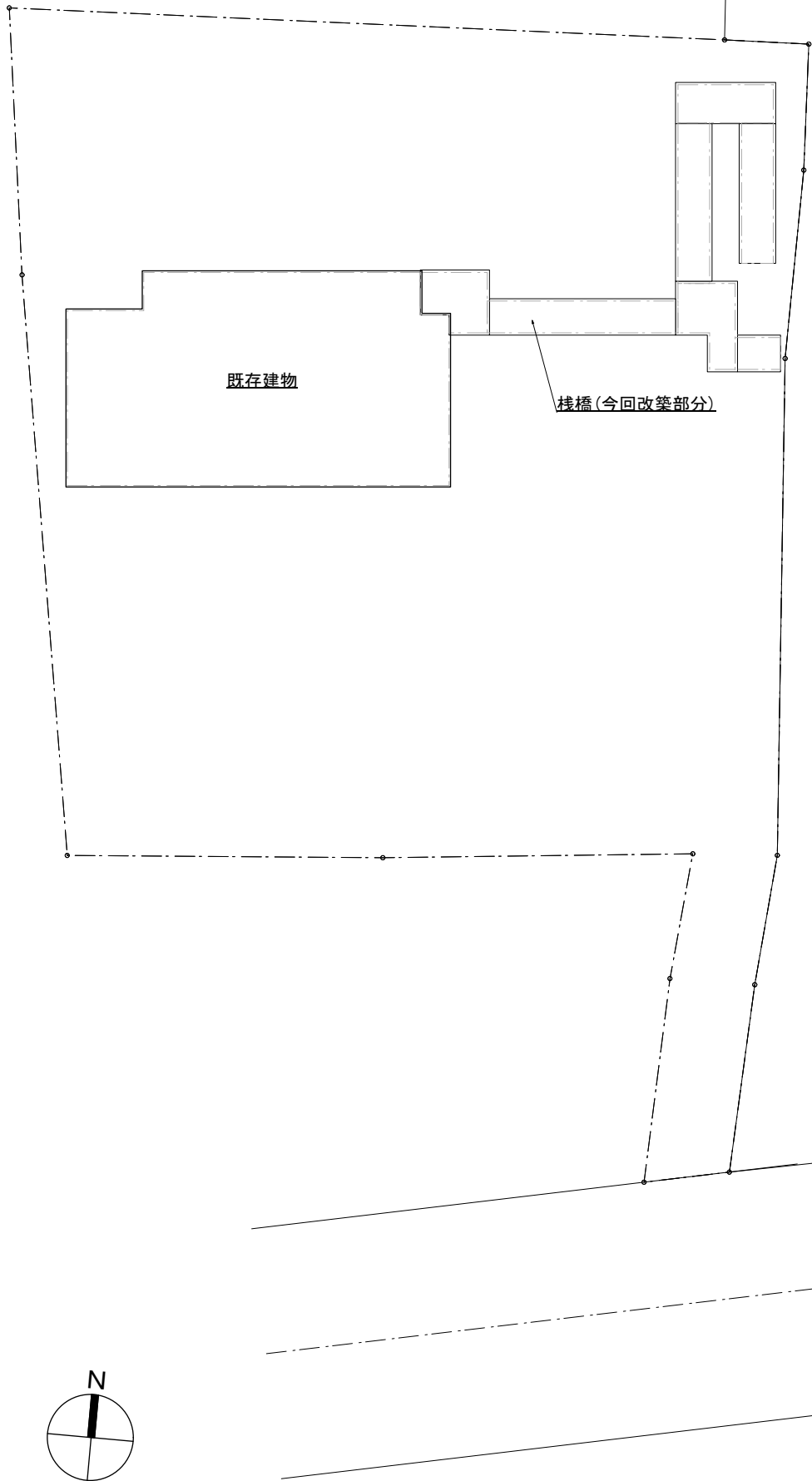
SCALE

-

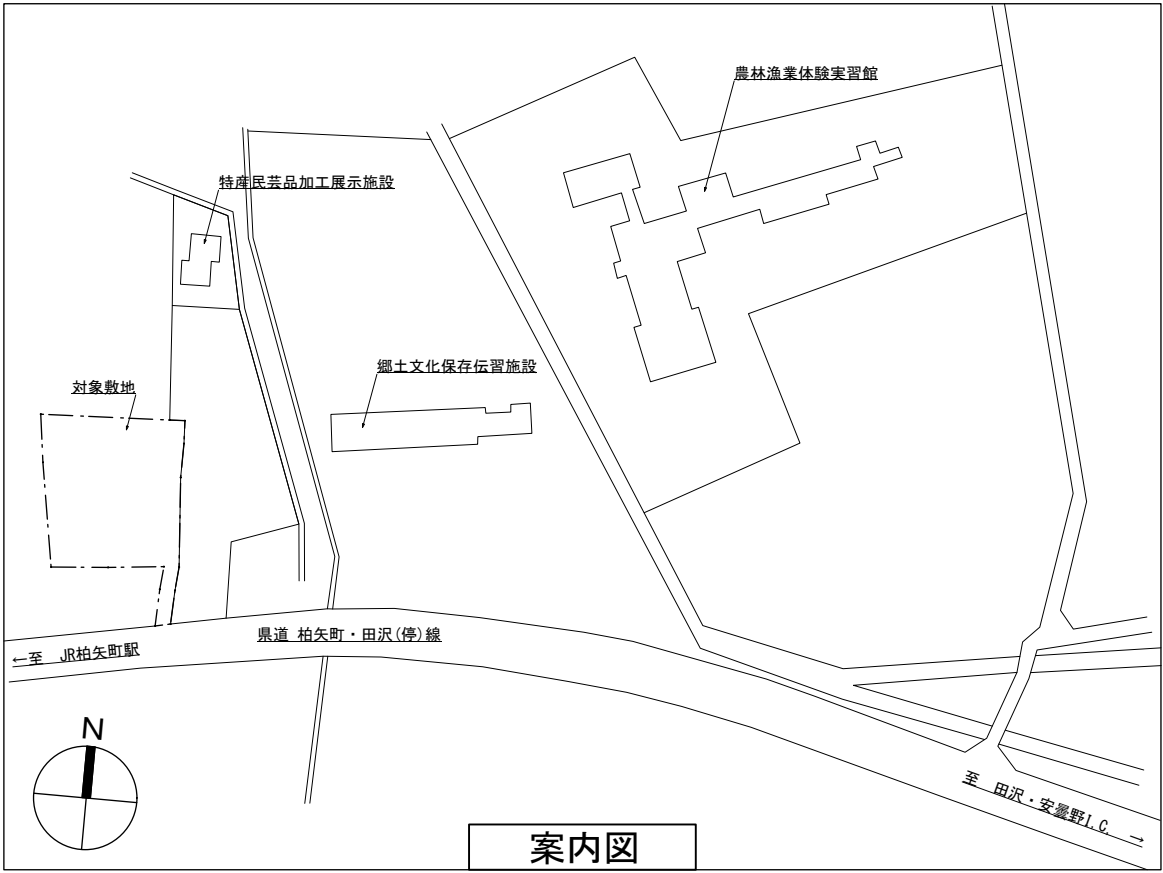
DATE

2022/09/27

NO

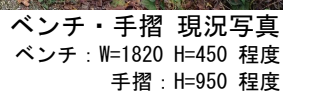
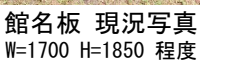
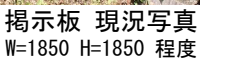
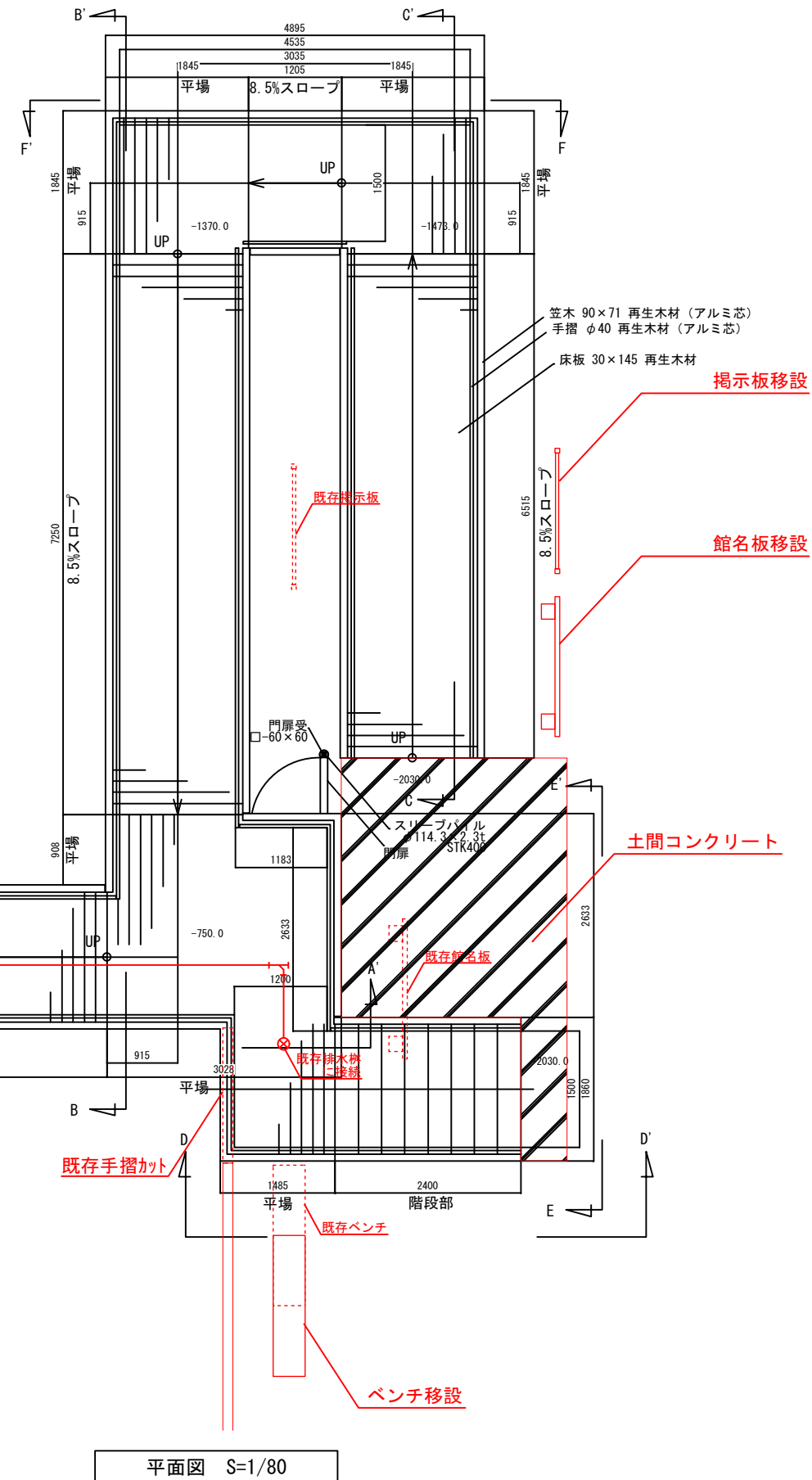
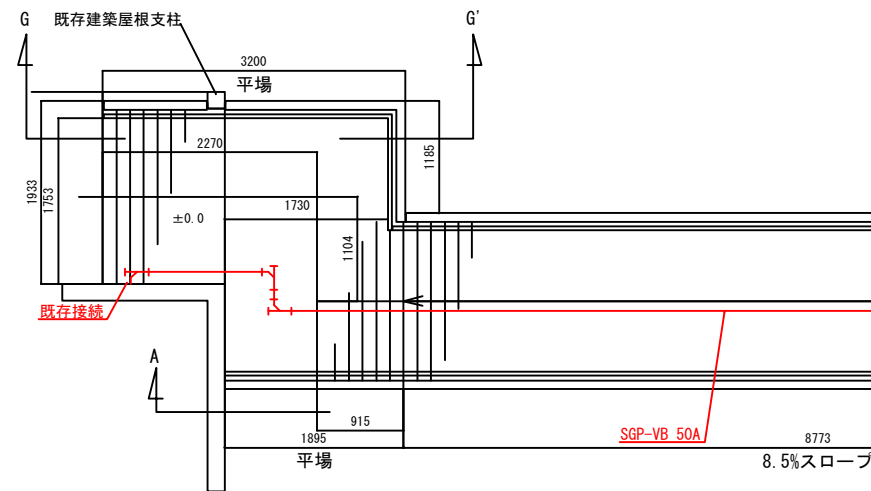


配置図 S:1/300

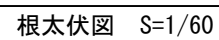


案内図

※棧橋の仕様については、全て同等品とする

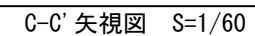
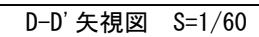
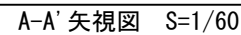


※棧橋の仕様については、全て同等品とする



DRAWING TITLE	SCALE	DATE	NO
根太伏図	1/60	2022/09/27	

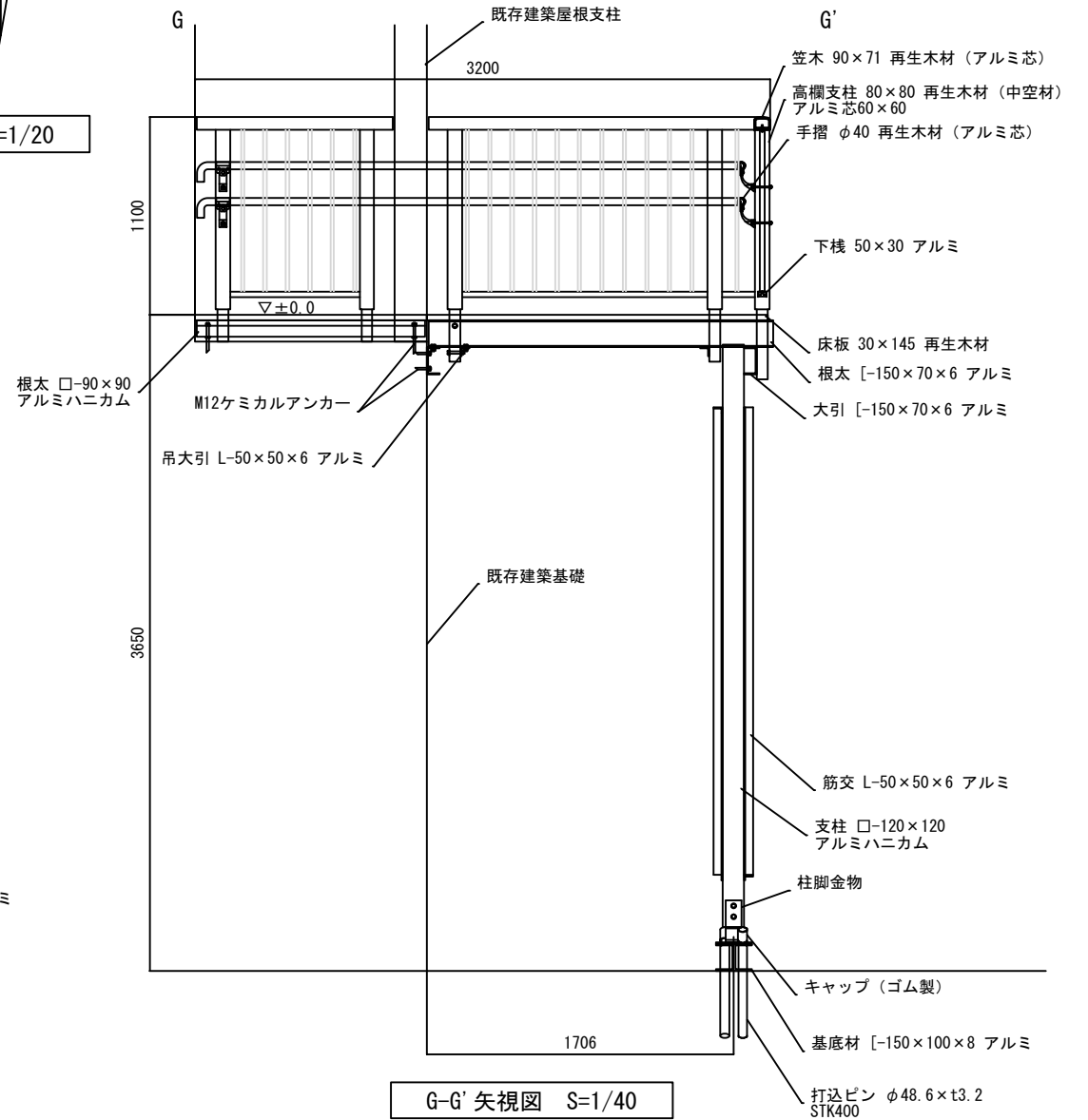
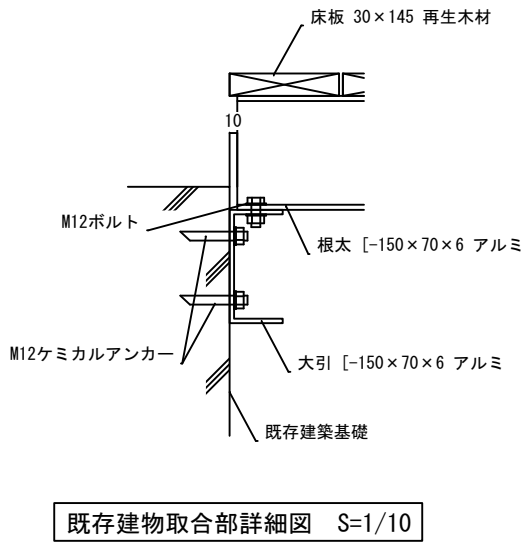
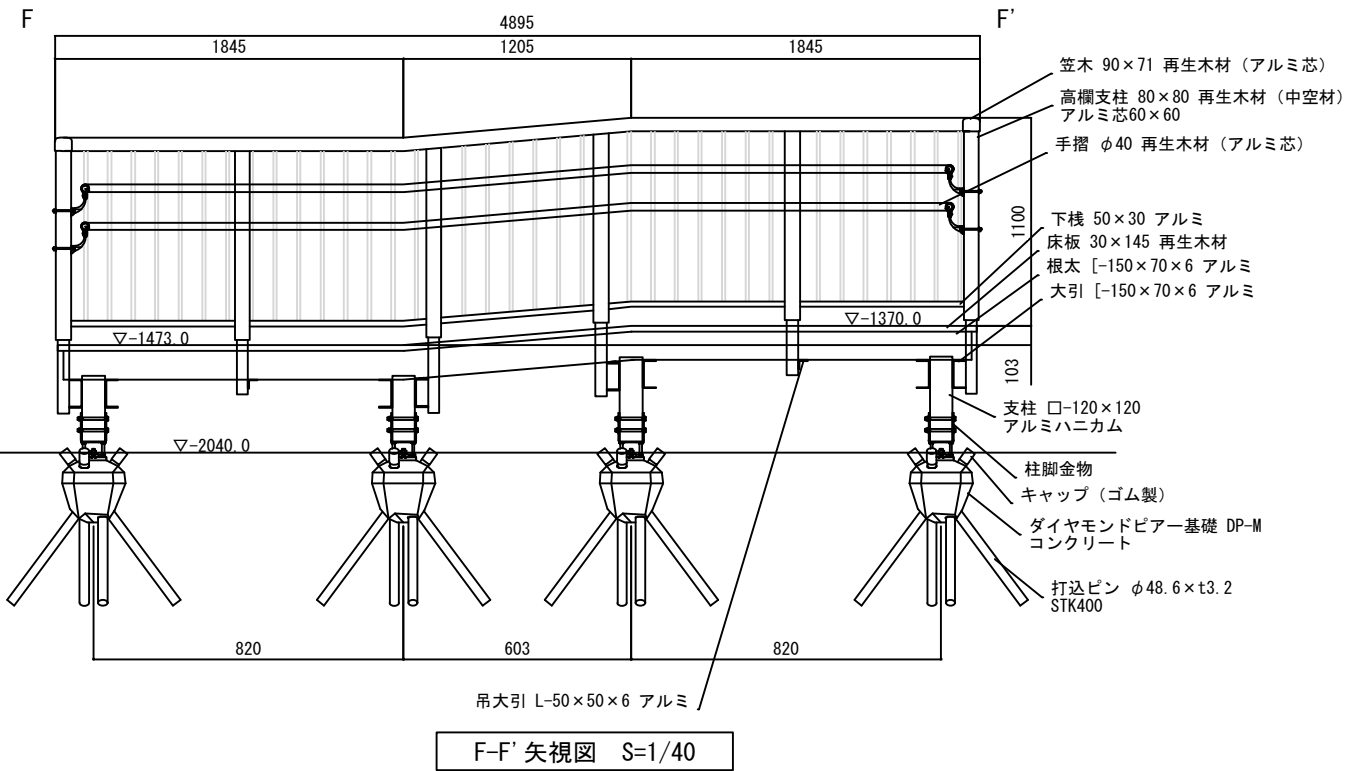
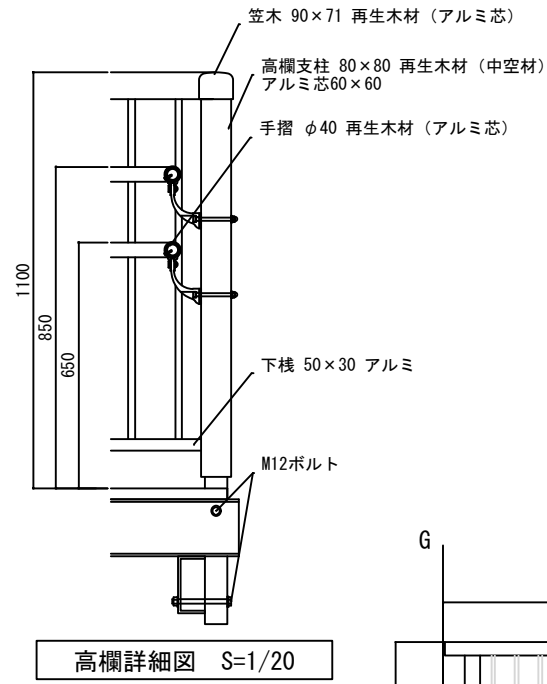
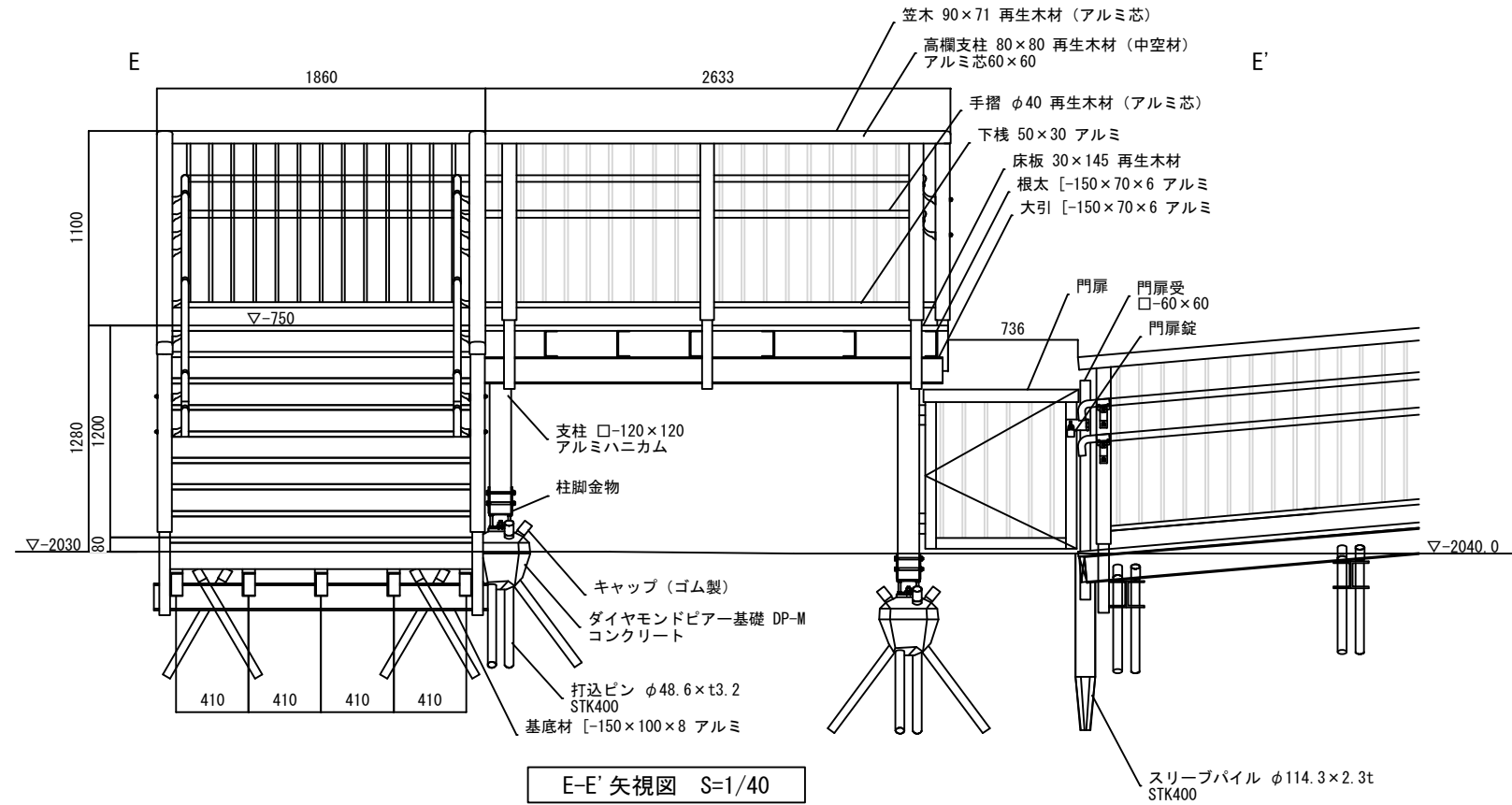
※栈橋の仕様については、全て同等品とする



	DRAWING TITLE 立面图	SCALE 1/60	DATE 2022/09/27	NO
--	----------------------	---------------	--------------------	----

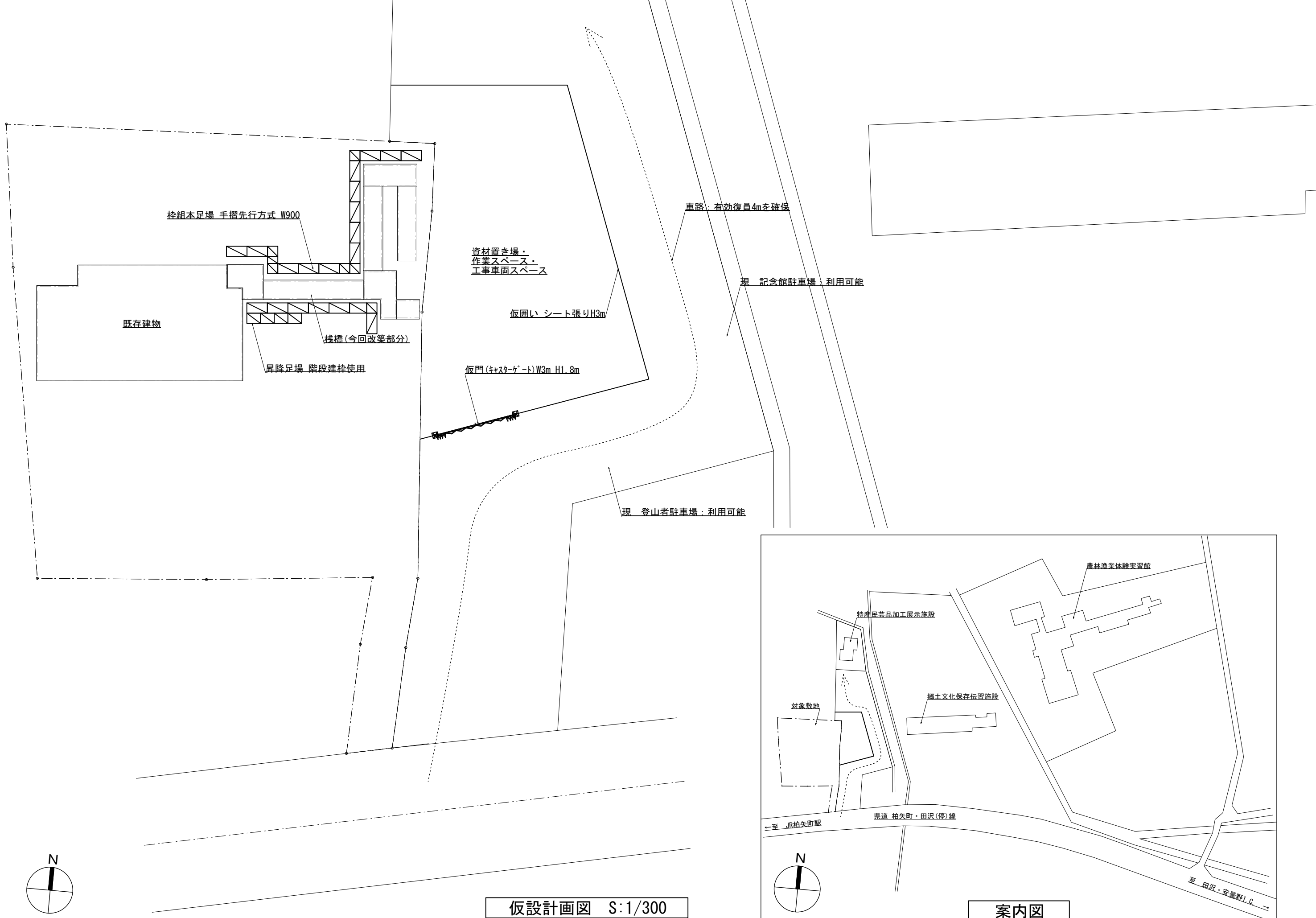
田淵行男記念館 棧橋改築工事

※棧橋の仕様については、全て同等品とする

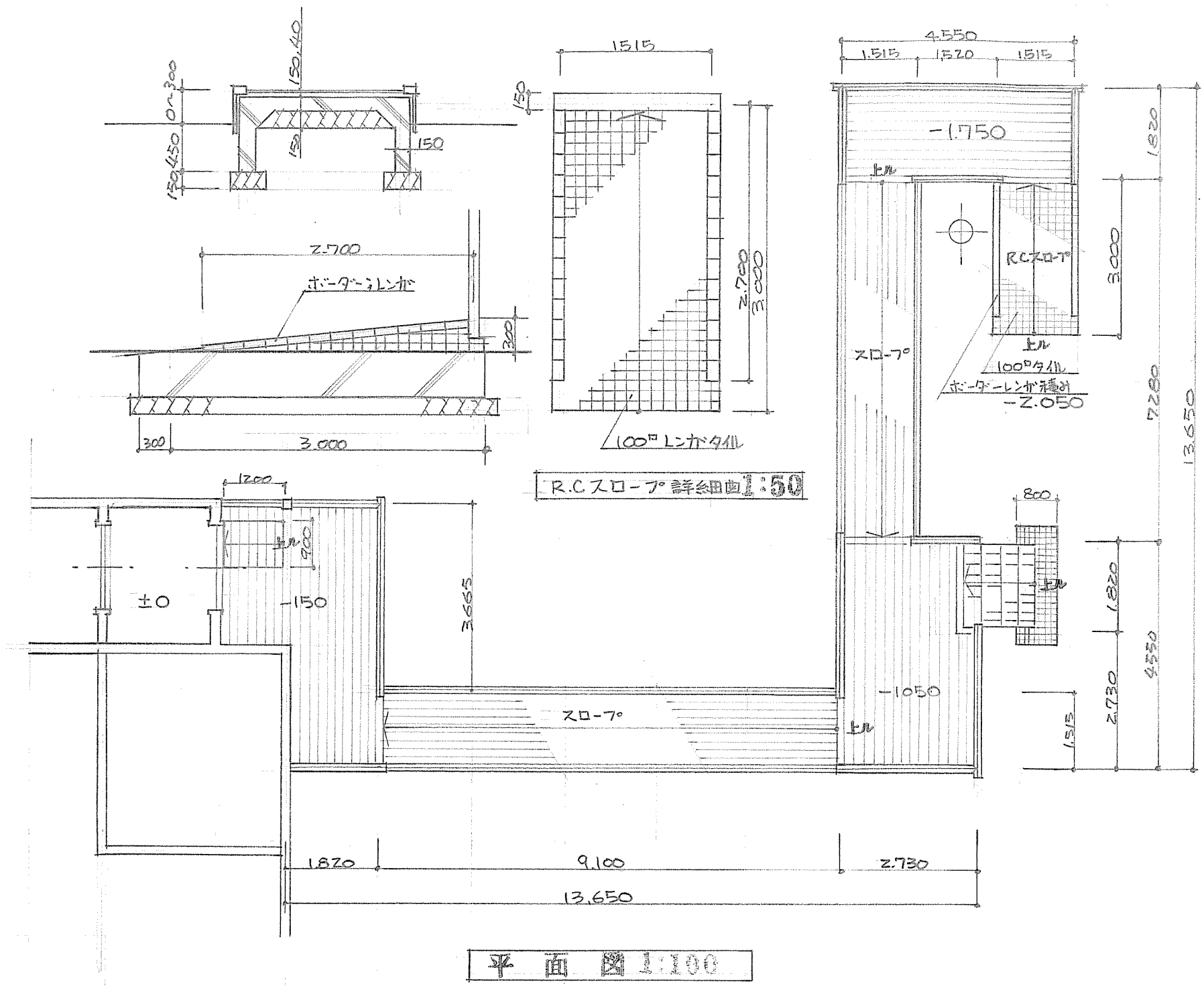


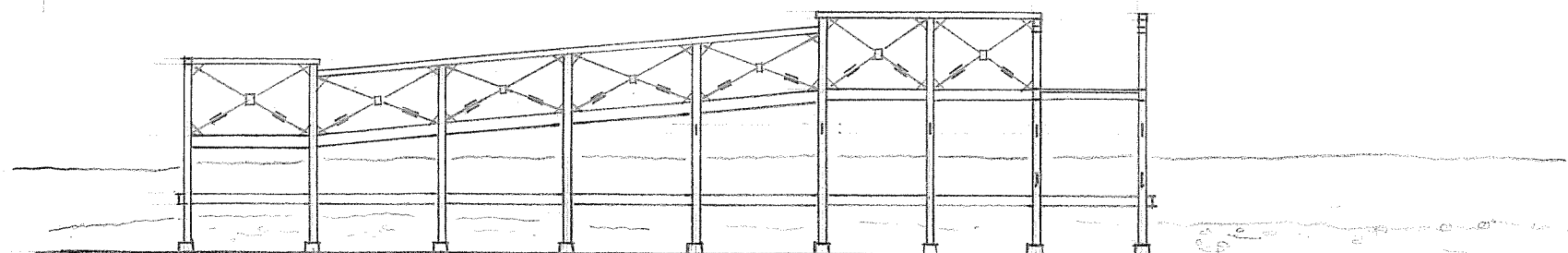
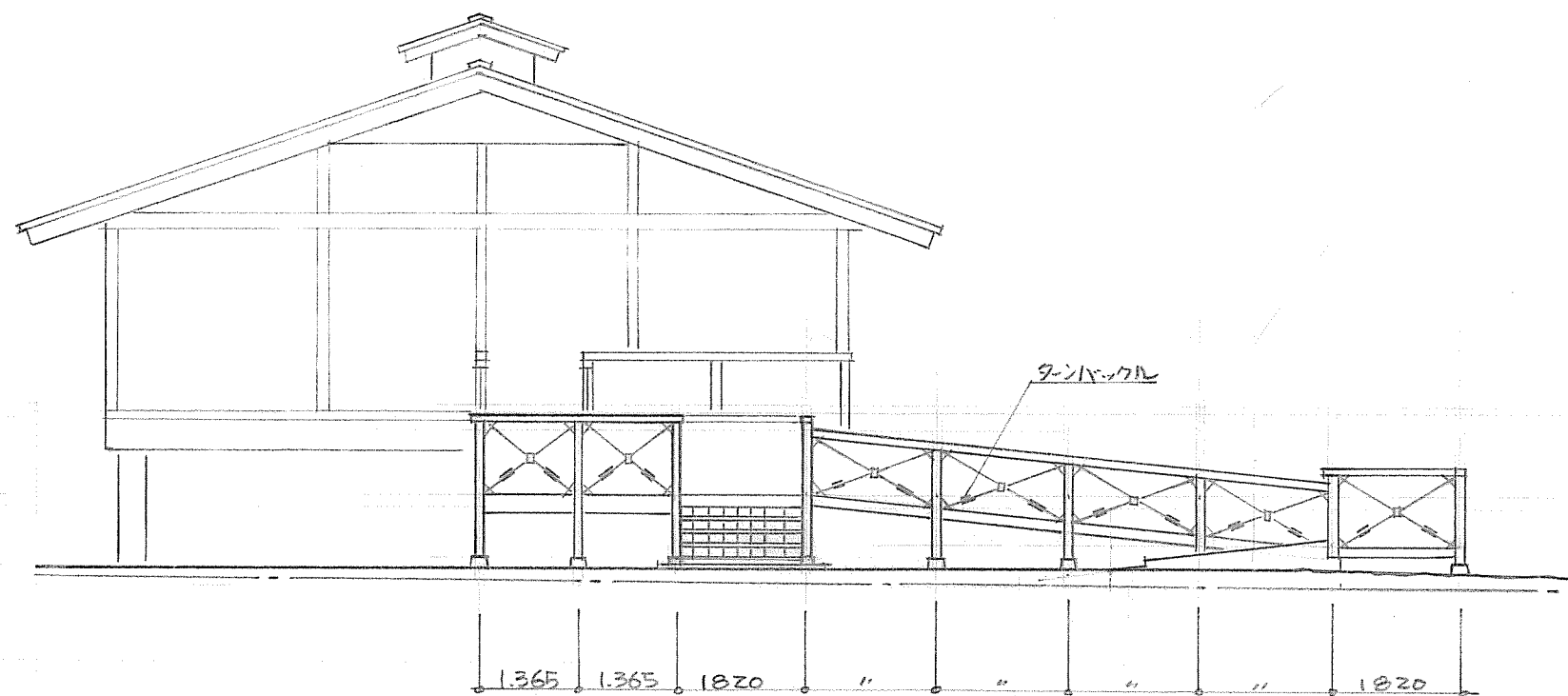
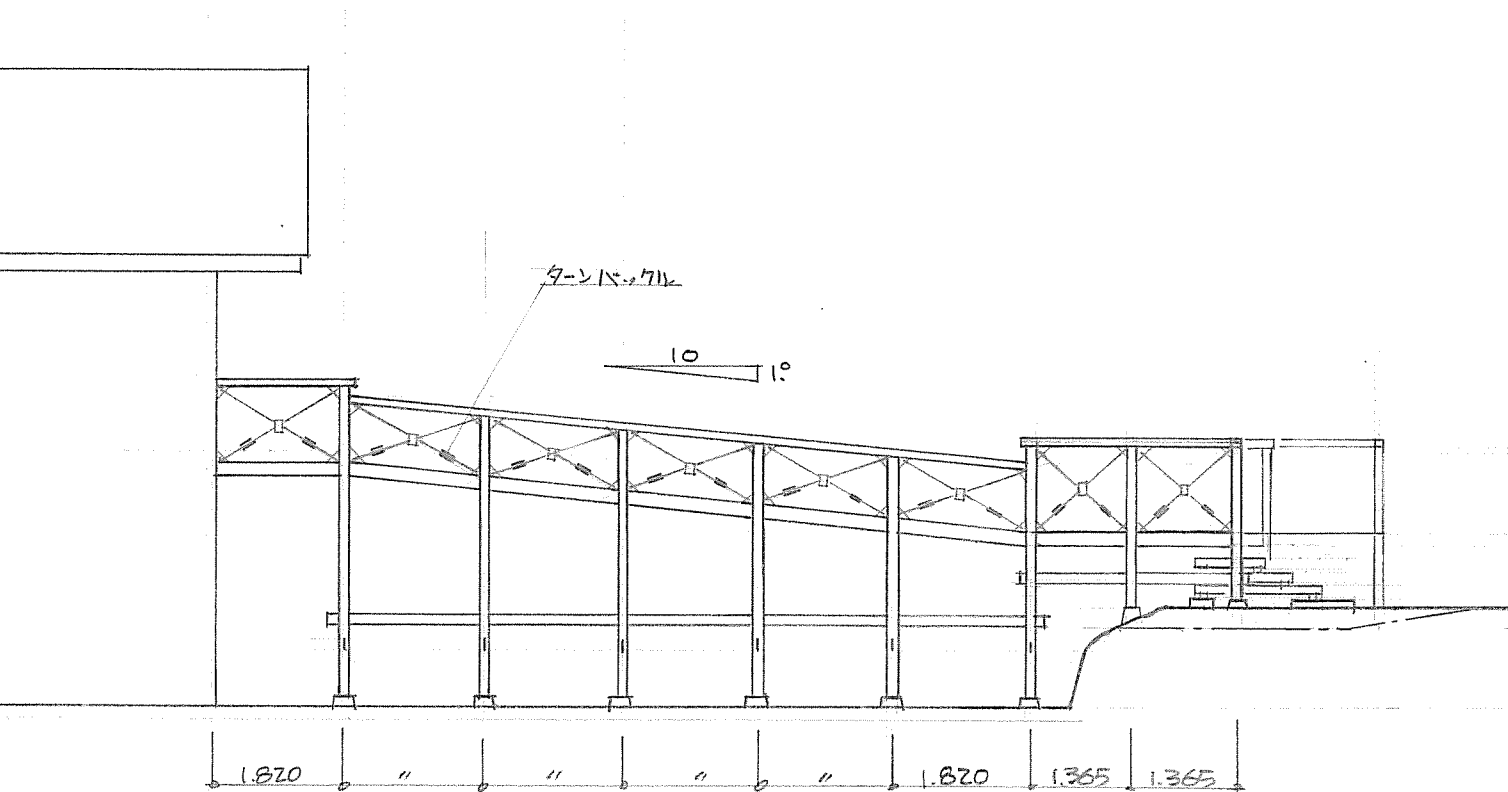
荷重条件	床構造	5000N/m ²
	根太・大引・基礎	5000N/m ²
	地震時	1000N/m ²
土質条件	土質	粘性土
	単位体積重量	14000N/m ³
	N値	5程度
	内部摩擦角	φ=0°

- 仕様
- 再生木材の比重は0.7以上とする。
 - 手摺の材質はアルミ合金 (A6063S-T5) としアルマイト処理 (マットブラウン色) を施した材料とする。 但し笠木と補助手摺芯材は素地とする。
手摺柱カバー: 再生木材 (ポリエチレン40% 木粉60% サンディング仕上げ)
笠木表層: 再生木材
補助手摺表層: 再生木材
 - 構造材アルミ合金材質はA6063S-T5以上の強度を有するものとし、アルマイト処理 (マットブラウン色) を施した材料とする。
 - 特記なき限りボルト、ワッシャ類は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。 (SUS304は除く)
 - 特記なき限り鋼材類は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
 - 打込ピンはSTK400 (一般構造用炭素鋼鋼管) +HDZ40 (亜鉛付着量) とする。
 - 柱脚ブラケットはSS400 (一般構造用圧延鋼材) +HDZ55+塗装 (19-20Bこげ茶) とする。
 - 図示された製品は賠償責任保険加入製品とする。
 - 現地現況位置の地盤調査を実施して、監督員と協議の上、打込ピン長さを決定すること。
 - (社) 日本公園施設業協会 SPL表示認定企業の製造製品とする。
 - 支柱の長さは現況地盤により、変更することとする。



DRAWING TITLE		SCALE	DATE	NO
仮設計画図		1/300	2022/09/27	





立面図 1:100

